



春を 生 か げ る 町



第11回
DMZ国際ドキュメンタリー映画祭
アジアコンペティション

山形国際ドキュメンタリー映画祭
2019
ともにある Cinema with Us

2020年東京五輪

聖火リレーの出発地点

福島県双葉郡広野町から

問いかける

出演 渡邊克幸 新妻良平 帯刀孝一

松本重男 松本文子 藤沼晴美

福島県立ふたば未来学園高等学校演劇部

監督撮影 島田隆一 プロデューサー 加賀博行 島田隆一

助監督 録音 國友勇吾 編集 秦岳志

整音 川上拓也 音楽 稲森安太己

協賛 アサヒグループホールディングス株式会社

助成 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

製作 広野町 Jyalya Films 配給 東風

2019年 日本 130分 DOD ドキュメンタリー

© Jyalya Films



しかし、本当の復興とは何か？



本当の復興とは何か？ その答えを、 希望とともに映しだす。

東日本大震災の発生直後から全町避難を余儀なくされ、東京電力や自衛隊の前線基地となった福島県双葉郡広野町。あれから9年——「復興五輪」をかかげる2020年東京オリンピックの聖火リレーは、この町からスタートする。けれど、その「復興」って何だろう？「絆」「再生」「共同体」といった言葉に、つい白々さを感じてしまう……そんなあなたにこそ、この映画を観てほしい。

『春を告げる町』が描くのは、華やかでシンボリックなセレモニーの後景で、こつこつと日々の暮らしを築いていく人びとの営み。この土地で新たに生まれ、すくすくと育っていく子どもたちの物語。被災体験をモチーフに演劇をつくりあげる高校生たちの青春。広野町を流れるいくつもの時間が交差し、重なりあい、やがて未来をかたちづくっていく。

監督は『ドコニモイケナイ』で2012年度日本映画監督協会新人賞を受賞した島田隆一。編集を手がけるのは『息の跡』『愛と法』などの秦岳志。果たして本当の復興とは何か？言葉にできないその答えを映画はそつと静かに、希望とともに映しだす。



www.hirono-movie.com

[@hirono_movie](https://twitter.com/hirono_movie) fb.com/hirono.documentary

3月21日(土)よりロードショー

全国共通特別鑑賞券¥1,300発売中

当日一般¥1,800/大学・専門学生¥1,400/会員・シニア¥1,200(全て税込)

浜谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

03(3461)0211 eurospace.co.jp

